

上下水道総合情報システム

春尾弘志*
川田卓嗣*

要 旨

上下水道事業は、安定・安全な水の供給や処理、周囲環境への配慮、高度処理技術への対応などはもとより、経営の視点に立った効率化とコスト削減が要求され、高度情報化のための施策が進行中である。

三菱電機は、以前から“上下水道総合情報システム”として、OA(Office Automation), EA(Engineering Automation), PA(Process Automation)の各領域及び全体での効率化を図れるシステム構築を目指してきた。

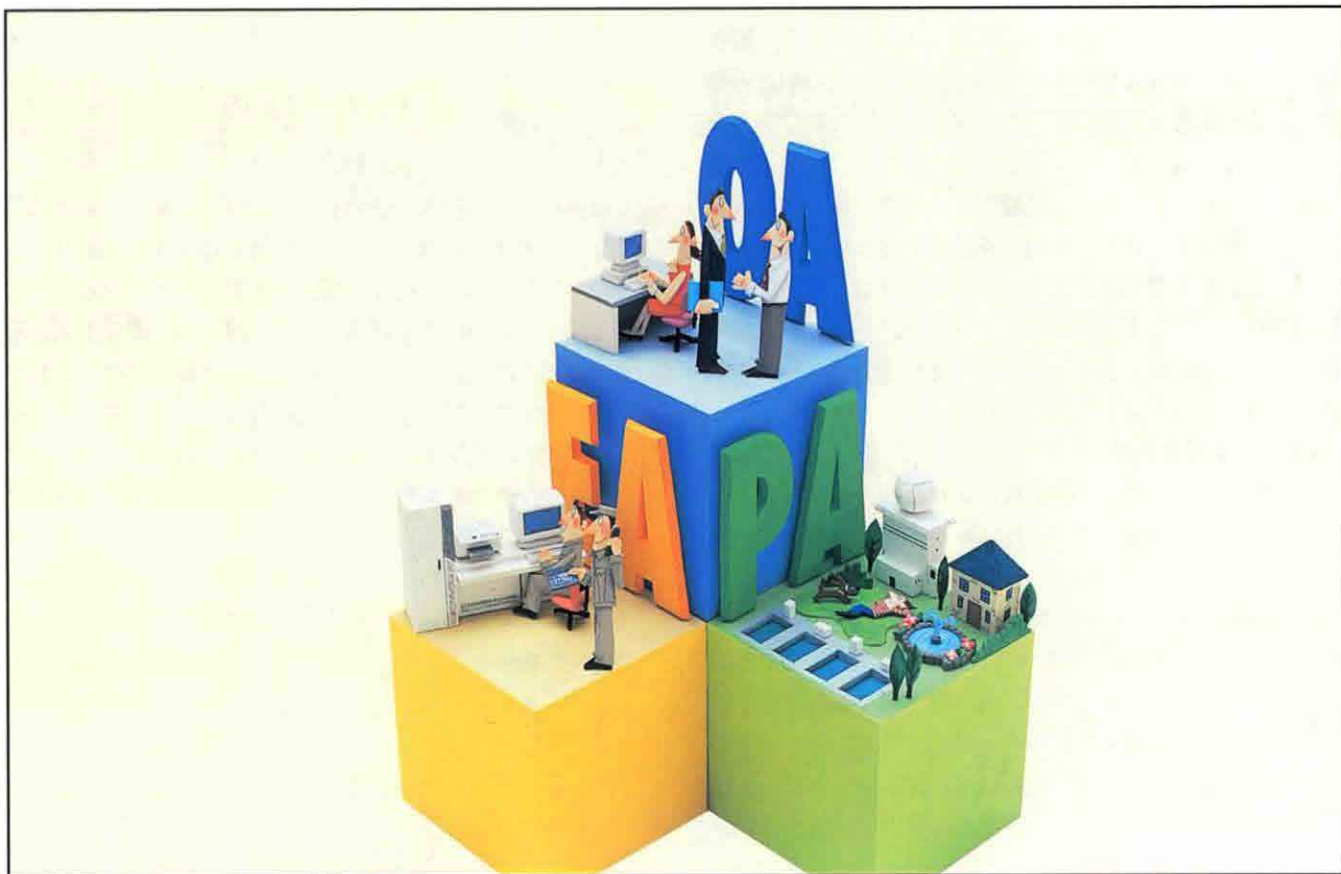
このシステムの特長は次のとおりである。

- 統合化(情報の一元管理, ネットワーク化)
- 高度化(情報資産の付加価値化)
- フレキシブルコンストラクション(既存システム活用)
- トータル効率の向上(自動化, 無人化, 広域, 統合

監視)

本稿では、すべての上水道・下水道業務を統括するとともに、より総合的な視点で支援することをベースとした上下水道総合情報システムについて紹介するが、その中でも統合化に視点を絞り、下記について述べる。

- (1) グループウェアの上下水道分野への適用
- (2) 携帯情報端末“上下水道手帳”による情報化範囲の拡大
- (3) インフォハーネス(“infoharness”)を用いた情報統合のコンセプト
- (4) 上下水道総合情報システムにおけるサブシステム紹介(雨水排除支援システム, 地域コミュニケーションシステム)



上下水道総合情報システム (OA・EA・PA)

“上下水道総合情報システム”を構築するOA, EA, PAの各領域を、上下水道プラントと重ね合わせてイメージ図で表現している。このシステムを導入することにより、個々の業務だけではなく、トータルでの効率化を実現する。